令和５年度　学校経営

１　学校経営にあたって

日本国憲法の精神、教育関係法規の趣旨に則り、第２期宮城県教育振興基本計画、宮城県及び仙台教育事務所、岩沼市の教育基本方針、社会の要請、地域の実情、保護者の願いと生徒の実態を踏まえて、人間性豊かな現代社会の形成者にふさわしい、心豊かにたくましく生きる生徒の育成を目指す。そのために、地域の大きな信頼と協力のもとに、全職員の英知を結集して、生徒相互の学び合いと温かい人間関係の中で、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康でたくましく生きる生徒を育成し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。

２　学校教育目標

心身ともに健康で、知・徳・体の調和の取れた、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

(1)　目指す生徒像

～　知・徳・体の調和　～

①　ねらいをもって学習する生徒　【知】
- ア　課題をもって、進んで学習に取り組むことができる。
- イ　自ら考え、発表することができる。
- ウ　進路を自覚し、計画的に学習することができる。

②　思いやりをもつ生徒　【徳】
- ア　他者の気持ちを考え、やさしさを行動で示すことができる。
- イ　自分で判断し、行動したことに責任をもつことができる。
- ウ　自然や郷土を愛し、美しいものに感動することができる。

③　心身を鍛える生徒　【体】
- ア　困難に立ち向かい、粘り強くやり抜くことができる。
- イ　進んで体力づくりに取り組むことができる。
- ウ　働くことに喜びを見いだすことができる。

【 調和 】→ 心身ともに健康な生徒

(2)　目指す学校像

～　あいさつ　・　きれい　・　感動と笑顔　～

①　あいさつの飛び交う学校
- ア　自ら進んで、あいさつをすることができる。
- イ　誰に対しても、分け隔てなくあいさつをすることができる。
- ウ　あいさつの効能を感じ取り、周囲の人と共有しようとする。

②　きれいな学校
- ア　自ら進んで、清掃活動に取り組むことができる。
- イ　自ら気付き、進んでゴミを拾うことができる。
- ウ　きれいな学校を誇りに思い、周囲の人に自信を持って自慢できる。

③　感動と笑顔があふれる学校
- ア　皆と協力し合い、一生懸命に毎日の学校生活や行事に取り組むことができる。
- イ　集団で成し遂げることの一体感に感動し、達成感や楽しさを感じ取ることができる。
- ウ　集団の中で、自己有用感を感じ取ることができる。

３　学校経営の基本方針

⑴　全職員が参画する学校経営

職員の和を基盤とし、ベテラン層・若手層それぞれの各職員の経験・持ち味が尊重される協働体制のもと、チームで教育活動に取り組む。

①　専門職の自覚を持ち、校内外の職務研修により職務の遂行に必要な資質能力の向上に努める。
②　職員の英知を結集し、創造的な企画と協働的な実践に取り組むとともに、学年・学級、分掌間の連携を密に行う。
③　安心・安全な教育環境の構築のため、施設設備の詳細な安全点検を日常的・恒常的に行うとともに、迅速な整備・補修を徹底する。
④　ベテラン層から若手層へのＯＪＴをスムーズに行うことで、職員の資質能力の向上に努める。また、ＩＣＴ等若手層の強みを生かす組織運営を行う。
⑤　常に働き方改革を意識し、仕事内容の精選や簡素化を図る。
⑥　職員間のコミュニケーションを密に行い、自浄作用のある風通しのよい職員室を構築する。

⑵　生きる力を育む学校経営

学習指導要領に示された資質・能力の育成を着実に進めるために、教育課程の適切な編成と確実な実施に努め、小規模校の特性を生かした教育活動を展開する。

①　基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と創造的な思考力、学んだことを活用して自ら考える確かな学力の育成を図る。
②　「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の取組を蓄積、結果を共有し、協働体制の確立を大切にしながら校内研究を推進する。
③　ＩＣＴを最大限に活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、分かる喜びが実感できる授業づくりを目指して授業改善を持続的・継続的に行う。
④　道徳科の授業を充実させ、自他の個性や立場を尊重しようとする態度と何事にも諦めないたくましい心を育成する。

⑶　生徒指導の機能を生かした学校経営

自己存在感を与え、共感的な人間関係を育成し、自己決定の場を計画的・意図的に設定するとともに、生徒の可能性を育む指導と、相談活動の日常化に努める。

①　生徒活動（生徒会、学級、部活動）を推進し、自己有用感・自己満足感を与えながら、自浄作用を高める指導・支援を行う。
②　共感的な人間関係の育成を目指し、協力して成し遂げることの感動と素晴らしさを味わわせる教育活動を行う。
③　多くの職員が、生徒一人一人とラポートを深め、多面的に生徒をとらえる環境をつくり、その情報を共有する。
④　いじめ防止及び命と人権を大切にする心を育成する。
⑤　スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心のケア支援員やスクールサポーター、家庭や関係機関等との連携・協力を図り、生徒一人一人に寄り添う相談活動を充実させる。
⑥　多様な生徒達を誰一人取り残すことなく、きめ細やかな教育を推進する。

⑷　地域に根ざした学校経営

地域との相互理解をもとに生徒の指導にあたり、より開かれた学校の運営を行う。

① 保護者、小学校、保育園、地域社会、関係機関と共に、防災教育、キャリア教育、健康教育、食育、健全育成事業等の協働推進に努める。
② 学校評議員会、学校関係者評価委員会での協議結果をもとに、分掌部会や職員全体での話合いを通して、次年度の学校の教育力の向上を図る。
③ 家庭への積極的な情報発信を通して、協働・連携の実感を共有しつつ、学校教育活動を推進していく。
④ 地域人材・教材（人、もの、こと）を積極的に活用する。
⑤ ウイズ・コロナの流れとともに、保護者や地域社会との関わりを、コロナ禍以前の形にできるだけ戻していく。あるいは同等の教育効果がある取組を模索していく。

４ 学校教育目標を達成するための今年度の重点施策

⑴ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を培う。

① 学習の道筋とゴールが見えるねらいを明確にし、適応問題や感想などの振り返りまでを時間内で行うことで生徒に学びの実感と次の学習への意欲をもたせるようにする。
② 発問の工夫とＩＣＴ等の活用で思考と対話のある授業づくりに努める。
③ 単元や題材を通したまとまりの中で、学習の見通しを持たせ、その学習を振り返る場面を適切に設定し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
④ 学び塾の活用、家庭学習の手引きや教科の振り返りシート等の活用とタブレットドリル等で学習習慣の確立を図る。
⑤ 小中職員間での授業参観や情報交換などをとおし、生徒実態を踏まえた指導や小学校での指導の上に積み上げる指導を行う。
⑥ 不登校・別室登校・コロナ対応・長期入院等であっても、生徒の学ぶ機会を止めない。希望すれば、常時リモート授業を提供していく。

⑵ 自他のよさに気付き、認め合う心を育てる。

① 生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）の充実を図り、一人一人の良さを認め合わせ、自己有用感・自己満足感を与えながら、個々の居場所づくりを進める。
② 不登校及びいじめの未然防止や早期発見・早期解決に向け、観察や声掛け、調査、面談、保護者との連絡などにより見立てを行い、ＳＣ等を含めた協働体制で対応する。また、小学校６年生に学校紹介や授業体験を行い、中学校生活への心構えを持たせる。
③ 他者との意見の違いを建設的に調整できるコミュニケーション能力を育てる。

⑶ 健康で安全・安心な生活を実現するための実践力を養う。

① 防災教育を中心に、自分の命は自分で守るという意識を育てるとともに、地域で果たすべき役割を考え、地域の安全に貢献する心を育てる。
② 危機管理能力（知識及び判断力、行動力）を身に付けさせ、危険を回避する力と安全・安心な社会づくりに貢献する心を身に付けさせる。
③ 給食時間や各教科・領域の時間と関連を図りながら、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。
④ 授業や部活動などを通し、運動に親しませるとともに、体力及び運動能力の向上を図る。
⑤ 情報モラル教育を通して、ネット上のトラブルを防止し、自分の生活を自分で律する力を身に付けさせる。
⑥ 感染症対策の基礎知識を身に付けさせ、安心・安全な日常生活や学校生活を送るための、自己管理能力を育てる。

⑷ みやぎの志教育を推進する。

① 職業調べや職業人の話を聞く会を通して、職業の魅力や働きがいなどを感じさせ、夢や志を育む。
② 自己の特性を理解し、個性や可能性を生かそうとする意欲や態度を育てる。
③ 地域社会の一員として、社会に貢献しようとする意欲や態度を育てる。
④ 生涯にわたり「ふるさと玉浦」を愛し、大切に思う心を育む。
⑤ 生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）において、上級生・下級生の縦の交流を活性化し、下級生の上級生に対する尊敬や憧れの念を醸成していく。

5　令和５年度　グランドデザイン＜学校経営全体構想図＞

学校経営にあたって

人間性豊かな現代社会の形成者にふさわしい、心豊かにたくましく生きる生徒の育成を目指す。そのために、地域の大きな信頼と協力のもとに、全職員の英知を結集して、生徒相互の学び合いと温かい人間関係の中で、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康でたくましく生きる生徒を育成し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。

○日本国憲法の精神
○教育関係法規の趣旨
○宮城県教育振興基本計画、宮城県及び仙台教育事務所及び岩沼市の教育基本方針

学校教育目標

心身ともに健康で、知・徳・体の調和の取れた、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

○社会の要請
○地域の実情
○保護者の願い
○生徒の実態

目指す生徒像

（１）ねらいをもって学習する生徒【知】
（２）思いやりをもつ生徒【徳】　　＜調和＞
（３）心身を鍛える生徒【体】

目指す学校像

（１）あいさつの飛び交う学校
（２）きれいな学校
（３）感動と笑顔があふれる学校

学校経営の基本方針

（１）全職員が参画する学校経営
（２）生きる力を育む学校経営
（３）生徒指導の機能を生かした学校経営
（４）地域に根ざした学校経営

学校教育目標を達成するための今年度の重点施策

（１）基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を培う。
（２）自他のよさに気付き、認め合う心を育てる。
（３）健康で安全・安心な生活を実現するための実践力を養う。
（４）みやぎの志教育を推進する。